…元…六吊百至六吊二百
…價錢五吊四百文至五吊
…共上車三十餘輛
…東共來七十餘輛
…六吊九百至六吊八百

一七九半紙 仝 一圓八十錢
一連紙 一連 一圓
一フールスカップ 仝 四圓
一中判洋紙 仝 二圓
一半紙野紙 百枚 二十錢
一巻紙 四十枚續 十四錢

一…紙道具 …
一椅子 一圓五十錢以上四圓五十錢
一籐筒 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十三圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一廚房用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一縞毛布 一枚モノ… 四圓以上六圓…
一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

滿州日報

○報價目
每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增

○告白刊例
一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

告料 一ケ月以上 一ケ月以內 一長期連掲減價面議 銀十五仙乃至十…

發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社 (電話二九番)

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

本支店出張所
横濱 神戸 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

横濱正金銀行牛莊支店

日本郵船株式會社 瀛船出帆廣告

相模丸 四月十日發 大沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
長幸丸 四月八日出帆門司、横濱行
苫島丸 四月八日神戸直行 乘客は一二等室に限る三等室無し
山城丸 仝十三日出帆 太沽、芝罘、長崎神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口代理店 旗昌洋行 (電話廿六番)

大阪商船株式會社 營口出帆廣告

潮州丸 門司 神戸行 四月十一日出帆

代理店 營口東公園地横 ブッシユ兄弟商會 遠來洋行 (電話二十三)

瀛船出帆廣告

日之出丸 四月八日長崎直行
摩耶山丸 四月八日大連、門司、神戸行
日勝丸 四月八日入港仝十三日門司行
日海丸 四月十日入港
錦龍丸 四月十日龍口行
萬成源丸 四月八日龍口行
十二永田丸 四月十日仝
大龍丸 四月八日天津行

營口代理店 松茂洋行船舶部 元神廟街三〇六號(電話五二)

飯塚工程局材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久己馳名四遠以之架屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克巳凡士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悮此外新到各種木料東洋炸子貨眞價實以應各主顧之急需 局本主人啓

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并切雜貨其名譽己傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綿絲粗布火柴絲布絨衣商標布手巾花巾東洋綢子洋蔬罐表貨物俱全而價値尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部 牛家屯這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺斯業與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白 電話 東店五五 西店一〇三

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨并發行匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寛大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便圍貯油餅豆米麥更爲合宜倘蒙有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷 總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘玉田 副理事金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寛大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕

係裝運各幇火輪船生意兼賣各割洋什貨糧石等此佈 營口西大廟街路北警乙第十三號

丸三洋行分莊

啓者本行開設於元神廟街精工自造羊肚手巾東洋緊身洋式襪子以及各樣雜貨俱全無不精美價値格外從廉賜顧者請光臨本行面閱是幸 丸三洋行分莊謹啓

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞綿子法蘭絨等貨來埠發售顏色鮮明俱照中國土布家機自染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議

東北街 東櫃(電話九十五番)
西義順棧內 西櫃(電話九十八番)

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌(斯達) 櫻花牌(撒克) 百合花牌(利利) 均已馳名內外兹特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌(隆沽來福)清香撲鼻佳美適口而價値極廉 諸君欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德元採買庶不致誤謹此廣告

本行瀛船 摩耶山丸 賴朝丸 專往東洋各埠

啓者本行開設在東營口輪船代理店海上火險公司及報客稅已有年矣今承關東總督府之特准開設中清鐵路公司運送貨物自牛家屯大拙至昌圖府均有分棧大連鐵嶺另有分行并各有中國人辦事今又設理雜貨生意專辦上等石炭棉花火柴洋布旭牌卑酒日本清酒一概俱全另有清國人執事如蒙中外士商光顧請來元神廟街營荷 松茂洋行 (電話五十一番)

三井洋行 電話 第六十六號 第九十一號

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近恕蒙各商光顧請駕臨是荷

○發售新到洋白糖

倉庫部

今回倉庫所在地(青堆子精搗場上隣り河岸)の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候 (電話百二十八号)

經理

○明治火險公司
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行內已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克已秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

生徒募集 營口瀛華實學院

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し義に督促書を差出したるも尙遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし 營口 瀛華實學院

營口瀛華實學院 招入學生

本學院肄業諸生師者成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時尙多未便兹因添設樓宇地勢寛宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生倘有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午四點過期不候特白 營口瀛華實學院

東清鐵道 裕和盛運輸局 (電話八十一號)
在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本號向在日本長崎開設分店在朝鮮國漢城仁川木浦旅順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東清鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧 總司理主人 周鶴雲 運輸部主任 高濱麟太郎 謹啓

材木販賣 荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號 小野町
本店 下關 秋田寅之輔商店

稅關手續
一船舶代理
一貨物取扱
一委托販賣

弊公司昨年開業以來引續キ營業罷在候處今般一層業務ヲ擴張シ解船、市內貨物運搬及貨物保管等確實敏速ヲ旨トシ殊ニ爲替付荷物及諸雜費等御依頼ニ應シ御立換ヘ可仕尙其他精々御便利ヲ相計リ可申候間倍舊御用仰付ラレ度願上候也

營口英國領事館東首 綏定門街第五〇 三仁公司 (電話一五〇號) 小島榮歲

上海 中井洋行 專運日本各式紙料

本行開設己歷多年曾與日本製造名廠有專銷之約凡新聞紙料印書籍各式紙莊票包棉紗料草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中井洋行

東洋號運貨局

本局新設新民府今經官准由新民府至奉天開辦運貨凡鐵路運貨比之車運速而廉乘此八所便局所辦事宜誠實爲旨懇切受托量叟不欺且運費格外公道以籌貨主之利便不論貨物多少論担輸算均可倘有遺失壞本局照價賠償若需客票本局亦可人代買如蒙仕商賜顧請至本局或奉天支局面議寄貨可也特此週知

新民府輕便鐵路火車站東洋號運貨局本店
奉天輕便鐵路火車站東洋號運貨局支店

丸重洋行 貨物運輸

啓者本行前在營口臺雜貨已有年今經關東總督府之特准開辦東清鐵路運貨不論貨種多少以全迅速誠實兼値爲貨主之利便爲旨如蒙中外士商光顧請來營口西北街本洋行或牛家屯火車站構內分莊面議不悞 電話 營口拾六番 牛家屯四拾八番

新荷着
▲板材木 ▲木炭
▲生石灰 ▲竹
▲亞鉛板 ▲洋釘
▲日本米 ▲疊

喜久洋行 營口永世街八十號 (電話百五十二番)

太古輪船公司

啓者本公司自派溫州牛莊兩輪專走營口登州龍口一往一來接續不斷搭客配貨均由本行瑪頭上落甚屬利便水脚素來公平船上應酬搭客無不週到歷經數年遠近馳名知者稱便用登報端以期廣告 營口 太古輪船公司

啓者有遼陽聚豐隆在遼買東升廣會票一張計廣字元號聚豐隆名下營平銀壹仟零柒拾兩正係營口永遠興照付又買天和福一張字字一百六十二號聚豐隆名下營平銀伍佰叁拾伍兩係營口廣順棧照付又遼陽廣興義托聚豐隆客人王輔臣帶來營信內附會票一張在遼買公立公司公字二號泰峯鎭名下營平銀壹仟零柒拾兩係會莊匯源達照付以上會票於清歷三月初九日由遼陽乘火車赴營晚一點鐘行至牛家屯東在火車內被匪人切去並失去手票爲此聲明無論落在何人之手作爲廢紙望各中外官商切勿收用特此登報勿謂言之不預也

清歷三月十二日 遼陽 廣興義 聚豐隆 二家仝啓

東京電報

●奉天領事の内定

豫て外務省に於て人選中なりし奉天駐在帝國領事には元韓國公使館書記官萩原裕一氏任命せらるゝことに内定せりといふ　（四月七日發電）

倫敦電報

●英領ナタルの土匪

英領ナタル殖民地に於て土匪の頭領バムバタ及び其部下の者は電線を切斷し警官及び人民に對して發砲せり聞く所に據れば該土匪は奪掠を縱まにし武器及び彈藥を奪ひ去れりと云ふ砲兵一中隊及び歩兵一小隊は今や土匪鎭壓の爲めに行軍中なり　（四月五日發電）

雜報

●統監府開廳式

統監府開廳式は愈〻去月廿八日正午より擧行せられ鶴原村田兩委員長は各委員并に軍司令部の將校下士及警備艦乘組員等と共に前日來諸般の設備に從事し式場前に大緑門を設け之に日韓兩國の國旗を交叉し煙火、爆竹等の後伊藤統監を始め長谷川大將、鶴原長官以下各統監府員、司令部員、朴參政以下韓國各大臣、原口、冲原各中將、井上侍從武官、中尾警備艦司令官等着席尋て依藤統監開廳の辭を述へ之に次て朴參政の祝詞ありし後日韓兩國　皇帝陛下の萬歳を三唱して式を終り午後一時より好道園の大園遊會に移り軍樂隊君が代及び韓國國歌の吹奏中一時三十分統監は村田少將同乘、恩賜の御馬車に乘り司令部將校室に向ひ參政以下韓國各大臣、英、米、獨、佛、白、清各國領事、同夫人、軍司令部、警備艦乘組將校等に面會し一同より當日の祝詞を受け同二時奏樂裏に一同新設バラックの食堂（三百五十坪）に入り統監は再び來賓一同に對し開廳の辭及び懇篤なる謝辭を述へ了て參政朴齋純氏は起ちて來賓一同を代表し懇切なる答辭を呈したる後君が代の奏樂中に恭しく日本國　皇帝陛下の萬歳を唱へ一同之に和し統監亦起ちて韓國の國歌吹奏中に韓國皇帝陛下の萬歳を唱へ一同之に和したり右終り來賓三千餘名に立食を饗し和泉、千代田、龍田三艦よりの寄附に係る魚形水雷の發射を縱覽せしめ尙餘興として朝鮮芝居、足藝、相撲、朝鮮古代の軍樂隊、達磨轉し、球投げ、福引、軍樂、煙火、爆竹等ありたる後福引の當籤者には統監赴任の節、伊勢、宮島等にて買入れたる二千餘點の土産物を分配し尙池田郵便局長の意匠に成りたる紀念繪端書を當日園內に新設したる十六ケ所のポストに投じて發送し實際橋附近に新設したる臨時郵便局より園內のポストと往來する有樣と園內に新設したる十數ケ所の電話所と園外の電話所との交話も非常に頻繁なりしが京城有名の各料理店より出したる園內の模擬店、ビーヤホール、朝鮮料理、お手輕料理、おでん、壽司、洋酒、茶、コーヒー、木の目田樂、笹の雪、汁粉、饂飩、蕎麥、煙草店等非常の繁昌にて好道園の山上には水兵の寄附にかゝる石橋、鯉の瀧登り等の作り物ありたり各模擬店の斡旋は總て京城、仁川の大小藝妓總出にて擔任し未曾有の盛會なりしと

●遼河輸送權の賣買

鐵道輸送權の如く遼河輸送業も昨年許可せられたる者即ち二十二人の外は例令如何なる理由を附すとも斷じて許されざる事となるや近來權利の賣買者續出し最初二三百圓位にて賣買成立せるも昨今は實に六七百圓に昂騰し尙望人多き模樣なりと一時の熱に浮され例の島國根生的の同志打ちなき樣注意せられたき事なりと某消息通は語れり

●招商糧貨公司の設立

此程當地松倉善家氏等二三清人と合同して題號の如き一商會を設立したる由なるが其旨意とする所は從來大豆豆粕の輸出は清人の獨占に歸し薄資の日本人は到底輸出に從事するを得ざるを遺憾とし汎く小資本家をして大豆及び豆粕輸出の便宜を得せしむると共に同公司も亦輸出業を營まんとするものなりといふ

●山中師團長の歸遼　當地視察の爲め來營中の山中第十六師團長は即日歸遼せりと云ふ

●日清實業協會の例會　日清實業家の組織にかゝる日清實業協會にては本日午後三時より日本人會々議室に於て第三回例會を開催すと云ふ

●與倉軍政官の歸署　與倉軍政官には昨日午後八時大連着今朝同地を出發し歸署の途に就かれたる由なれば本日午後三時頃歸着せらるべしといふ

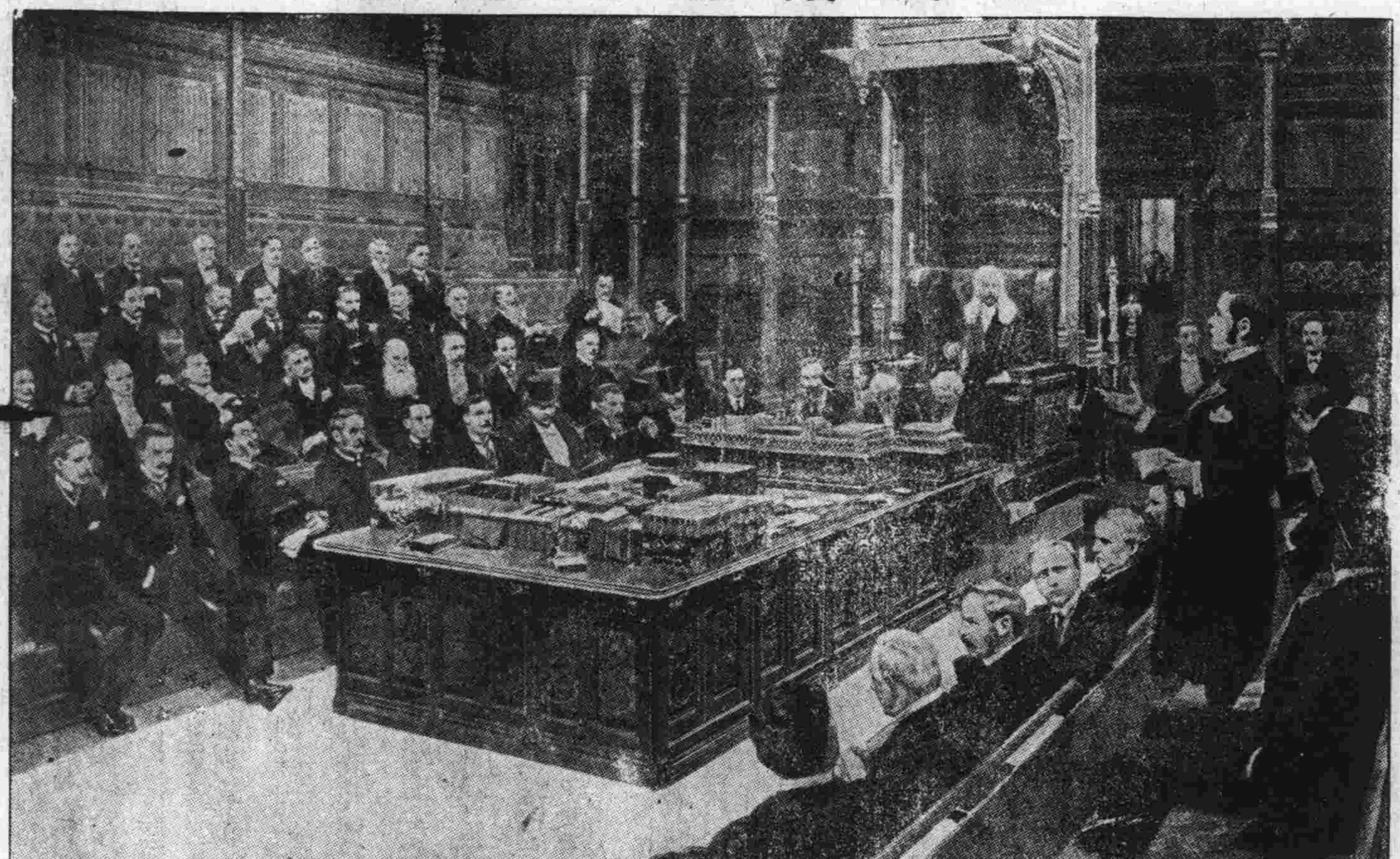
●伊集院總領事の歸朝　不日歸朝すべしと傳へられたる在天津伊集院總領事は愈〻去る五日午前六時天津出發歸朝の途に就きたる由にて其東京滯在日數は不明なるも一時奉天總領事に擬せられたる風說は本日の東電により打消されたる如くなれば多分再び現任地に歸來すべしとなり

●本願寺の釋尊降誕會　本日は大聖釋迦牟尼佛の降誕日に相當するを以て當地永世街矢野洋行向側なる本願寺出張所に於ては本日午後一時及八時（營口時間）の兩回に於て尤も懇に大聖釋尊の降誕法要を嚴肅に修行せらるべく寺本布敎師よりは（佛とは何ぞや）との演題にて說敎ある筈にて已に信徒諸氏よりは高張提灯及び供養の花に代ふるに多數の紅提灯などの寄附などありたる由定めて遠近より善男善女は菩提の道場に參詣なし淸き佛陀の福音に接する事なるべし

●東西南北

內田公使は今回愈〻本省に復歸して次官に再任し林權助其跡を襲いで清國公使と爲り珍田次官は墺國大使と爲るとはもう確定議であるさうな▲東北三縣救恤會が一月二十八日に始めて開會してから三月二十八日に至る二ケ月間に取扱つた金高は十五萬五百六十八圓▲歐米列國人にして日本を見ざるを以て恥と爲し日本觀光近頃大流行と爲つて居るさうぢや戰爭に大勝利を得て一文の金にも爲ら無かつた大馬鹿仕事をやつた者は定めて世界の奇でであらう成るべく多く見に來るがよい▲千葉縣下興業中の大砲滾車中腦充血に罹り卒倒し辛うじて蘇生したさうぢやが大砲の破裂は十分御幣を擔ぐ價値がある▲東京の今日此頃は桃の花が濟んで櫻といふ所である大抵四月の十一二日には上野の花が咲くし十四五日には墨田の花が咲く併し營口では春が來たが一向に花の咲か無いのみか毎日砂烟りが立つてゐる

英國議會の光景



●釋尊降誕會に就て　梅の里人

四月八日はお釋迦樣の誕生日でありまして、內地では野や山に咲ける花を摘みて御堂を飾り、甘茶をくんで御躰を洗ひ、淸き心と美しき所作を以て目出度き此日を祝ふのであります、實にお釋迦樣は自ら「天にも地にも我れ獨り尊し」と仰せられし如く豪ひ御方でありまして三千年の昔印度の國に御生れなされ衆生濟度の爲めに皇太子の御位をも捨てゝ十二年の修行を積み御悟りを開かせられ四十九年間の說法に五千四十八卷の經文を說かれた御方で其敎は亞細亞大陸南洋は申すに及ばず現今では歐米の學者博士達は爭て研究し尊信して「世界の光」とまで賞め稱へあらゆる國に信徒の無き處なく全地球人類の三分の一を網羅せる最も大にして最も高き最も尊き敎法であります、我日本國へは今より一千四百年以前傳はりまして以來歷代皇室の御尊信により國家的宗敎となり列聖輩出して或は立正安國論となり興禪護國論となり國體の精華を組成して特別偉大なる發展を生じ遂に萬世一系の皇室が世界に冠たるが如く釋尊の殘されし佛敎は理想に叶ひたる世界の宗敎として到る處歡迎せられつゝあるは爭はれないのでありますまして一身を献げて國恩に報ゆる誠忠の念が佛敎の死生觀より胚胎したるものと言ふに於ては明かに宗敎として完全なるものであると言ふ事が分ります、而して現今世界で一番進取の氣性に富み最も精神の旺盛なるは吾が日本でありまして又大乘佛敎の最も隆盛なるのも吾日本のみであります。日清戰役で「亞細亞の日本」と謳はれ日露戰爭で「世界の日本」と稱へられたる吾々同胞はさす國旗のまはゆき光の如く世界を照らすべき任務を負ふたのでありますから一人箇々お釋迦樣の樣に常に獨立自尊の精神を奮起して靈精を修養せねばなりませぬ、夫れ故今回有信の諸氏相謀りまして營口には充分の事は出來ませぬけれども內地より御誕生佛を請じ奉り甘茶も取り寄せ花御堂もこしらへ今八日午後一時より日本人會々場にて聊か祝福の意を表白せむ爲め慶讃式と一場の法話を開かれますから萬障繰り合せ御來會あらん事を御勸め致します又御婦人の方并に家事の御多用で定めたる時間に御來弄の出來ぬ御方には午後五時まで御待ち致ますから寸暇を都合して一杓の香水を灑いて因緣を御結びあらむ事をに切望みます、實に此の降誕會は時候もよし花もあり冬籠を出てたる人の爲めには幸福なる時季で其の主意に於ては元氣充滿せる新開地亦は海外居留の敢爲勇邁なる愛國の情念燃ゆる如き人々に對しては最も適當せる祝賀會ですから歐米に居留せる同胞は到る處之を營み就中近年伯林倫敦桑

投書かご

▲玉突場にて皆夢中に爲つて居るから分らぬが虛心平氣で見て居ると隨分可笑しなものだ先づ五代谷口兩君の腰の振り具合吉田某君のしかめ顏加茂君のキューを投げ出す風體最も特色がある玉を突く毎に必ず其癖が繰り返さるゝので仕舞にはどうしても吹き出さずには居れぬ諸君注意して見給へ（岡眼生）▲西營口の〇〇の宿舍から折々營口式美人が朝歸りをするのを見るが氣を付けぬと御體面に關しますぞ（野暮郎）▲金城館のれ富さんが男に化けたのは事實に相違無いが梅毒で禿げたと書いてあつたのは少し可愛想だやアレは腸窒扶斯で大變難義爲すつたので禿たのですよ何うか取消しをして上げて頂戴な（富男のボン友）▲料理屋の廣告に老妓來了なぞいふ意味の廣告は澤山あるがまだ客房を淸潔にしといふ風の廣告は見ぬやうだ御馳走も別品も部屋が汚くちや美味くも美くしくもない料理店の一發展として部屋にも注意して欲しいものだ（愛讀者の一人）▲炊事男樣に御詫申上げます私は先日の或女でございますが實は其當時是非に奉公先を求めて居ましたので如何なる御方かと思ひ御尋ね申上げました所或人の勸により餘儀無く鐵嶺へ參ゐりますことに爲りまして申上ぐるもお恥かしい次第でありますが再び憂き川竹に身を沈めることに爲りましたので今更後悔をして居りますさういふ事ならもう二三日營口に居れば好かつた事にと返す〳〵殘念に思ふてゐることでございます只今新聞を見ましたので喫驚して御詫申上る次第でございます（鐵嶺より）

●お林丈の送別案內狀

お林丈歸朝の報一たび本紙に出で某洋行の粹連喫驚仰天して淚ばかりの送別會を催さんとて早速筆を走らせたる案內狀飛んで編輯に舞ひ込み來る光榮ある宴會に列するを得ざりし御贔負衆は責めてものアヤかりに一讀を吝しむ勿らんことを

一筆啓上仕り候扨て本日の新聞紙上にて承り候へば今般春帆樓に其人ありと聞えたるお林丈は今度と云ふ今度こそ愈〻丸まげの三ツ紋と云ふ素敵滅法に油拔けの骨無しと云ふ肉氣の無い皮いらしい御いでたちで明朝の摩耶山丸で內地へ向けて御春帆とは聞いてビックリ仰天の次第に御座候就ては淚ばかりの御送別會を此の有志共が相つとめ申度候に付遠路態々御こしとは奧深く御育ち遊ばしたる貴女には甚恐縮の次第にては候へ共何卒東洋車にでもおめし遊ばされてこの午後の六時と云ふ六時に當洋行迄御來臨被成下度大男共皆々おいざに手をチヤンとおいて行儀よく御待ち申居り候先づは不取敢あわてまわつての御案內迄あら〳〵アクシヨン

四月七日　某洋行粹連（姓名畧）

おりん丈　御許へ參る

●營口花信

▲一力のお光と申候姐さん此頃より遠かの雲隱くれに全樓を擧つて家搜しに候へども未だ見當り申さゞる由必定平某なる辣腕家の持ち逃げと專ら噂さ致し候▲同樓へは昨今又々新猫七八疋罷越し候由併し偵察隊の報告に據れば鐵嶺より逆戻りしたる者にて或は後送ともいひ或は凱旋ともいひ未だ定かならず候へども恐くば負傷後送といふ御念入かと察せられ候▲金城館の化け猫お富君は柚味噌に毛の生えたる如き頭を振り立て憎くらしい新聞だ腰が起つたら躍り込んでやるなど恐ろしき權幕にて之れあり候何の事か分り申さず候へども取り敢へず御注進申上置候▲昨夜のおりん丈送別會は古今未曾有の御盛會に之れあり候主客は僅に七八名に過ぎざりしかども節穴覗きが某洋行を取捲きて十重二十重と押掛け東洋車でお歸り掛けを拜觀せんとて待伏とは驚き入り候▲昨日貴社へ舞込み候案內狀は同丈が都樓にて大だんびらに見せびらかし居たりし所へ旋風遠に吹き起りて捲き上げ候もの丶由に候故無く舞ひ込み候ものに之れ無く候間必ず御不思議めさるまじく候可祝　（自稱粹人）

●演劇

二本町松榮座に於て女演劇あるの事は昨紙既に記載する所ありたるが當一座は座長岡本千代花にして新舊兩刀使ひと云ふ至極面白き芝居なりと云ふ初日の藝題は

一番目新演劇雨後の月全八幕

二番目舊演劇阿波鳴戶全一幕

役割は三好金次、電信直次、岡本千代花▲三浦信子三好千代、妙珍美根代▲山本お蝶源氏節語り小美桝▲山本竹次、三浦義臣、妙天、美佐次▲川口新吉書生飯盛、美根六▲紳士塚原淸、署長松永、子分三太、美花丸▲紳士松原猛、巡査、子分松造美根八▲子分八造仕出し、美花吉▲子分寅吉仕出し、美千代

謹覆書犀陽雅丈足下

捧讀瑤章、倍增感歎、見君三藝、其秀如春山、其淡如春水、淳々嬉々、無一俗調、無一腐字、想君之心腸、皆錦繡也、敬服敬服、君又言率爾操觚、不可以比高明、寔余等所深愧也、今妄呈敝作疊韻及他數首、伏祈斧政、倘不怪罪以惡詩汚大雅、則感甚幸甚、

大石橋　岩城黃雨　秦英舫

讀犀陽雅丈詩（疊韻）　黃雨

耻我詩才淺且輕不如大雅幾千程新聞紙上今相識觸起詞壇無限情

同　（同）英舫

春城一路紙鳶輕高寄雲霄幾萬程我等豈知流水曲空敎孤負伯牙情

同　（同）

養花天氣半陰晴似海春光滿耀城讀罷新詩詩興動催詩擊鉢鉢聲淸

同

鳳翥鸞翔字字姸新聞紙上識詩仙問君何日能相會唱和終宵不許眠

同　（疊英舫君韻）黃雨

欽仰君才七字姸淸吟忽覺到神仙何時相遇鬪詩酒俱醉花間月下眠

火車開行

▲上行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝邦子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇
山海關至天津	上五、〇〇	下五、五五

▲下行車時刻表

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上八、〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一
天津至塘沽	[illegible]	[illegible]
塘沽至唐山	[illegible]	[illegible]

稅關手續

一、船舶輸出入荷物取扱
一、荷物保管
一、日本郵船部、回漕部
一、爲替附キ荷物ヘ便利ヲ計リ可申候

諸鐵工製作

鑛山機械、船舶機械、鐵工、鐵道附屬品、經便線

營口ブロツクシ　定爾

川鐵工

四月八日（營口時間）午後一時ヨリ日本人會々場ニ於テ

天氣

營口地方天氣豫報　自七日午後六時至八日午後六時

北の風曇り

小説

新作小説 **おとし胤**（三十一）　德田秋聲

封を切ッて了ッた。健三は、遂に第二の「惡」を犯したのである。彼は奈何にしても自分に自分を制することが出來なかッたのである。彼は暗中に爛つく猫の眼のやうに眼を光らせて、渇えた人の水を飲むやうに其の本文を讀み始めた。

其の冒頭の第一章に、

光孃よ、余は御身を愛するものなり。余は身を捨て丶御身の爲に盡さんとすなり。

此の一章を見て、健三は眼の眩かんばかりに驚いた。頭は嚇ッとして、身裡の血が一時に頭に衝騰ッたかと思はれる。

彼は躁ぐ心を制へて、次の章へ眼を移した。

余は、波川八郎といふ者なり。波川と謂はゞ、御身の祖父様は、能く知られ居る筈なり。余は若き頃、屢御身の家に出入して、殊に御身の母とは親しかりき。余が御身を愛し、御身の爲に盡さんといふは、御身の母と親しかりし昔を思ひてなり。されど孃よ、願はくは余の爲に、余の名を秘せられよ。また余が御身に對して爲すところの一切の事實を秘せられよ。何んとなれば、魯鈍余の如きを誤つて、天下は名士の班に列し居ればなり。

讀來ッて、健三は吻ッと胸を撫で下ろした。

光孃よ、御身は實に不幸の子なり。而して今回海鹿家より御身を迎へんとするは、更に御身の不幸を増すものなり。御身は華族の子となりて、決して幸多からざるべし。

余は、御身の父を知る。されど、では果して御身の父なるか疑問なり。さるにても海鹿子爵は確に御身を子なりと信じ居るなり、祖父様もまた爾信じ居らる丶なり。これ蓋し、海鹿子爵にも祖父様にも爾信せねばならぬ理由あればなり。よし、さらば、御身を海鹿子爵の子なりとせよ。御身は、海鹿子爵を親と思はれよ。されども御身は、更に一人親のあることを思はざるべからず。親とは誰ぞや、余なり。波川八郎なり。

光孃よ、余を以て、妄に御身の心を惑はすものとなす勿れ。余は確に御身の親なるや否やを此處に斷言せざるべし。また斷言すべき理由なし。されども余は眞實の親の心を以て、御身の爲に盡し、御身の幸福を願ふ者なることを信じられよ。

御身は實に不幸の子なり。されど御身の母は御身よりも不幸なりき。御身の母を爾く不幸の者となしたるは誰ぞ。余は斷言す。海鹿子爵なり。此の意味に於て、海鹿子爵は、御身及び御身の母の讎敵なり。否、猿島家の讎敵なり。海鹿子爵は、實に舊藩主の威光を以て、御身の母を壓伏し、御身の母の貞操を破らしめたるなり。婦徳を傷けたるなり。

悲しいかな、御身の母も、世の女性の其の如く心弱かりき。而して若殿たりし海鹿子爵の主人風に逆ひ得ざりしなり。其の結果。御身の母は御身を生みて、あたら青春の身を日蔭者となりて夭死したるなり。而も海鹿子爵は、拾有七年御身を此の山村に打捨て置きて顧んともせざりしなり。

然るに海鹿子爵は、今や御身を必要として、自邸に招く。これ親としての慈悲にあらず。子爵に子なし。されば御身を招き寄せて、既や初老に近き身の、淋しさ心を慰めんとするなり。同時に御身を以て、紛亂したる家庭を鎭壓する道具にせんとす。子爵は、巳が慾望の爲に、猿島家より御身の母を奪ひたる如く、御身をも奪去らんとす。これ、明に一種の掠奪なり。

御身の祖父様は、健義一遍、忠義一徹の君子なり、故に舊主の命とあれば、何事も否む勇氣あらざるべし。されば徒に主家の御爲を思ふて、御身の母を犧牲として惜しまざりき。恐らく今また御身をも人身御供として、以て自ら潔となさるべし。これ、御身に取りて一大不幸なり。

此の場合、御身はたゞ、御身の剛情を以て、御身の不幸を救はざるべからず。行くなかれ、行くなかれ。飽迄も東京行を拒絶せられよ。もし御身の足一度、小御門の村を離るれば、御身は遂に終生脱し難き惡魔の手に握れたるなるべし。

東京なる海鹿家の家庭には、嫉強く、意地惡く傲慢にして吝嗇なる子爵夫人あり。では最も御身を苦しむる人なるべし。次に頑固にして我儘なる先代の夫人、即ち子爵の生母。其の仲仔細ありて出歸りとなりたる子爵の次の妹二十を五ツも六ツも越して、何れへも嫁がぬ妹。兩人もありて、倘數馬と謂へる末弟あり。而して此の數馬と謂へるは、一家紛亂の中心點となりて一方の組にては、之を順養子にせんとし、一方の組にては、之を否決し、所謂波瀾万丈の有様なり。

光孃よ、御身は、此の如き紛亂の眞ッたゞ中へ飛込まんとするなり。否投込まんとするなり。御身は奈何にしても此の災を避けざるべからず。無慈悲なる親に逢ひたしとの心に驅られて、花の如き生涯を地獄に墜すこと勿れ。たゞ、剛情を以て、此の危難を脱れられよ。

さすれば余は機會を見て、御身を眞に花の如き境遇に置くこともあるべし。余は今も妻なく、子なく、一箇の天笠浪人の如き者なれども、紳士と呼ばる丶地位と多少の財産あれば、御身を花の如き境遇に置くに最も便宜なる地位なり。而して此の地位は、思ふところあつて自ら作りたる地位なることを記せられよ。

然り、余は、よしや御身の父にあらずとするも、御身の父の如き心を以て御身を愛するものなり。余は御身の母を愛したる如く御身を愛す。

＊　＊　＊

讀終つて健三は、我を忘れて少時茫然としてゐた。何が何やら五里霧中だ！

廣告

廣告

一生石灰 五千罐

右購買す入札保証金各自見積代價百分ノ五以上で入札望の者は本月十三日まで當署經理課に就き入札心得書、契約書案、見本熟覧の上同十五日午前十一時入札すべし即時開札す
此契約は營口軍政官輿倉喜平担任す
明治三十九年四月一日
營口軍政署

大聖釋尊降誕會修行

四月八日午後一時及び八時（營口時間）
演題（佛トハ何ゾヤ）　寺本布敎師
永世街　**營口本願寺出張所**

法律事務所の開始

生儀前ニ判事并ニ地方法院長等の官職に歴任し及び辯護士の職務を行ひしこと多年今般民刑訴訟の代理刑事被告事件の辯護訴訟事件の鑑定契約書起案法律顧問等總て法律に關する諸般業務の依頼に應ず
營口永世街金城館南隣り
小林法律事務所
從七位勳六等　小林一生
○但し應接時間は午後四時限り夜分の面會は絶對に謝絶す

岡本千代社一座百拜

當一座は日本各地に興行し大方の御愛顧に據り好評を博し來り候處今般御當地好劇家の御招聘を被り來る四月九日より日本町松榮座に於て興行致候間永當々御來觀の程奉希上候

初日藝題

一 壹番目 新演劇　**雨後の月**　全八幕
一 貳番目 舊演劇　**阿波鳴戸**　全一幕　おつる親子對面之場

場割

一、三好屋金兵衛殺しの場
二、和田辻堂電信直次負傷の場
三、三浦義臣の宅お蝶身賣の場
四、一本杉作兵衛發狂の場
五、三好屋お代殺しの場
六、三浦義臣面會の場
七、三好金次山本竹次改心及び親子面會の場

役割

三好金次、電信直次、お弓　岡本千代花
三浦信子、三好お代、妙珍　仝　美根代
山本お蝶、源氏節語り　仝　小美枡
山本竹次、三浦義臣、妙天　仝　美佐次
川口新吉、書生飯盛　仝　美根六
紳士塚原清、署長松永、子分三太　仝　美花丸
紳士松原猛、巡査、子分松造　仝　美根八
子分八造、仕出し　仝　美花吉
子分寅吉、仕出し　仝　美千代
大切源氏ぶし總掛合　外　澤山

爲替券盜難廣告

弊號（聚豐隆）は先に遼陽東昇廣より爲替券廣元號聚豐隆名下營平銀貳千七拾兩營口永遠興の支拂に係一通及仝地天和福より宇字百六十二號聚豐隆名下營平銀五百三十五兩營口廣順棧の支拂に係る一通又弊號（廣興義）は遼陽公立公司公字二號泰峯鎭名下營平銀壹千七拾兩營口匯源達の支拂に係る一通、を受買け以上三通を遼陽瀋軍に乘し牛家屯に達せんとする翌午前一時頃車内に於て盜賊に刧かされ前記三通の爲替券及所持金を奪取せらる依て前記三通の爲替券は何人の手に渡るとも全然無効に付茲に紙上を以て特に廣告候也
月　日
遼陽　**廣興義**　**聚豐隆**

森病院

一診察　自午前八時至正午十二時　自午後三時至午後五時
一往診　午後三時より
▲患者の入院治療を諾す
▲貧困患者の施療は正午十二時より二時迄
姙婦の入院を諾す（産婆大道しげ子）
院長　醫學得業士　**森　矯**
副院長　醫學得業士　**長船郁太郎**
◎院長森矯久敷歸朝中の處今般歸營診療に從事す
◎本院齒科開設　齒科醫　**兒島市郎**
本月十五日より開設す　**森病院**

故沖禎介

追悼の爲め江湖諸賢より玉はりたる詩歌書畫を編集上梓して一の紀念帖と爲し度き旨同存父沖荘藏氏より通知有之候就ては其紙數を一葉にても多からしめ以て存亡父子共の光榮を大ならしめ度くと存候間廣く江湖の同情を得度廣告候也
一、刻版は四月中に取かゝる事と存候
一、紙判は美濃紙大
一、沖荘藏任沖縄縣那覇地方裁判所官舍
御問合の件あらば左に
新民府奈良崎八郎　營口瀛華學院上野政則　大清通運公司安田貞藏
同志友人　敬白

廣告

歯の衛生治療は一日も等閑に附すへからす然るに當營口に良齒科醫無きは予輩の最も遺憾とする所なるを以て今回二三有志相謀り目下**天津佛租界**に於て**開業し内外人の信用を博せる齒科醫田添豐三君の出張治療を乞へる**に快諾を得來月上旬より本埠マンヂウリヤ、以ウスに於て約三週間許治療に從事せらる丶を以て齒患に艱める丶諸君及び齒の衛生を重んせらる丶諸君は此好機を逸せず續々治療を受けられんことを望む尚同君來營の期日は重ねて紙上に廣告すべし
三月三十日
營口有志者白

和洋會席御料理

一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町
日本館（電話百三十）
各位樣

鐵嶺　西門外大通
御旅館　御料理
福屋

大阪商船會社荷客取扱所
內外船舶代理保險貸借仲立　輸出入税関手續
水陸輸送貨物仲次所
解船人夫運搬請負　諸品委托賣買　倉庫業
最近内地行滊船
御代丸　四月八日出帆門司直行
日の出丸　四月八日出帆長崎門司行
摩耶山丸　四月八日出帆大連門司行
西北街　**德重洋行**

御旅館 豐陽館
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
上海（電話一〇六番）
館主　米田藤吉

料理部開業披露

弊館是迄旅館專業に御座候處今般新に料理部を開設し聊か紳士諸君の御引立に報ひんと存候就て広座敷向き等も凡て改築仕日本式の粋を撰る藝妓仲居も弊店付として内地より二十五名計り呼寄せ特に料理は東京有名の厨士を聘し材料に乏しき當地にては不可得珍味佳肴を供すべく一切の準備相整愈々本日より安直を旨とし開業仕候間何卒賑々敷御來遊の程偏に奉希上候
追而料理部開業と共に旅館部にも改良を施し御客樣の御便利御計可申候間不相變御引立の程願上候

旅館　料理　第一營口ホテル　**第一樓**（電話八四）
山縣光雄

奉天日本旅館 瀋陽館

家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放全時一開業
奉天小西門外十街路北

小料理 滿月
滿月支店
平の町（電一六二）
平の町（元都樓跡）
店主　吉本猪熊

CARTRIDGES.

We have just receiveda large assortment of Spo- ing Cartridges for 8, 10 r& 12 bore Guns which weatre prepared to supply at moderate prices, cash with order.

Apply to,
BUSH BROS.

獵銃彈新荷着
第八、第十、第十二號獵銃彈新荷到着廉價にて販賣致候間多少に拘はらず御注文被下度候
但貸賣一切御斷申候
ブッシ商會

胃腸病新藥
消化劑
糖化素
医学得業士 矢島氏發見
滿洲特約一手販賣
東瀛大藥房
營口大街

本劑專治脾胃失調飲食不化之諸症飯後脾胃疼痛過用米麵積滯腹瀉脚軟心驚婦人懷孕患嘔吐之症執病稍愈腸胃未至於調和又如停食胃口不開肝胃氣痛肚腹膨脹兩便苦澁之諸症均有卓効
發明者日本醫學得業士
矢島猴太郎 謹白

Yano & Co.
矢野洋行
電話一三七　Telephone No. 137

諸雜貨、家道具類、吳服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間直段も極安價を以て御用に可應候に付何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

清國營口二本町二五五號
主任 鹽川峯吉（電話一三六番）

發賣
料木 標子 木級
塩川商會
遼陽小西門内 鹽川商會
●建築用材北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
外に電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

旅人宿 東館
大連市信濃町卅九號地
特別ト親切ヲ旨トシ且ツ廉價ニ御取扱可申候

醇良自釀清酒

札幌ビール
朝日ビール
口付萓大和
酢
醬油 瓶詰樽詰
菓子 罐詰 色々
洋酒類
右取次販賣
牛莊港東營口
宅合名會社
營口支店

本舖 大日本東京 山崎帝國堂藥房處修
腦丸 天授
天授者天下多多有咳嗽藥中之冠也たんせきをつさましの一切の妙藥
腦丸者天下唯一之腦病靈藥也腦病の名藥にして他に類なし
大清國 總批發處
營口大街（永世街二本町）
藥司洋行 淺野爲三郎
藥劑士
福壽堂 大葯房
醫械藥材 有名靈藥 總發賣處

大日本政府特定
官製口付紙捲煙草
滿州一手輸入發賣
江副洋行
營口永世街

廣告
當公司今般業務擴張の爲め特に敏腕熟練なる技術者數名を聘し公私を問はず和洋各種の建築及土木事業に關する製圖設計監督の依托に應し最も懇切敏速に處辨す
建築部主任技師工學士 森川範一
土木部主任技師 永原万吉
營口元神廟街第百七十二號（電話一七三番）
土木建築請負業 井上公司

萬代不朽 毛製屋根瓦ラバロイド及リサイト販賣廣告
ラバロイドルーヒングは堅牢にして極寒炎暑の候に耐へ如何なる地にても不適の場所なく龜裂破損漏水の憂なく良く極寒炎暑の地に適し床及階段等の敷物に有効なりリサイトは室内裝飾塗料にして通常ペンキの如く臭氣なく變色の憂決してなし
米國紐育スターンダードペイント會社東洋特約一手直輸入販賣元穴原商會營口特約販賣店
營口元神廟街第百七十二号（電話一七三番）
井上公司

和洋雜貨及紙類
大販賣
奉天城内鐘樓南大路西
千賀洋行（電號）

大日本帝國醫科大學模範藥局御用
攝津灘石崎合資會社釀造
澤之鶴
醇良清酒
滿洲特約大販賣
清國營口西北街
裕和盛號支店
電話八十一番
大連湖北彩票毎日賣出
東清鐵道裕和盛運輸局
○支店韓國京城、仁川、木浦、旅順、鐵嶺、
○支店清國、芝罘
○本店日本長崎梅香崎
○酒保用品雜貨
○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰
○洋酒食料品各種
○和洋煙草各種
○菓子類各種
裕和盛は清商中日本通の張本
澤之鶴は銘美天ある評定に既

一料理用白味噌、赤味噌、
一煙草類、東京淺草海苔、木炭、萬醬油、白米、其他鰹節等
一罐詰類、
一瓶詰雲丹、酒盗、コノワタ、
一清酒澤龜特約並に瓶詰、
一酢、ビール、葡萄酒、洋酒類、
其他日用品乾物雜貨新荷着仕候に付多少に拘らず御用仰付られ度伏て奉願上候也
東營口永世街第廿八号
雜貨商 大原洋行

質屋營業
益々勉强御便宜相計り可申上候間多少に不拘御仰付け被下度願上候
營口永世街南裏第三十六號
北斗洋行質屋部

營口中央市場前
萬事勉强乘車乘船好位置
旅館 東京樓
店主 熊田兼次郎（電話百七十八番）
御廉和洋料理 東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需に應ず

御手輕料理
一釜飯御一人前 五十錢より
一卷壽し 一本 十五錢より
一湯豆腐 一壺 廿五錢より
一東京壽し 一人前 卅五錢より
右之外御誂に應ず
月 日
營口元神廟街二〇九號

翁亭

列車時刻
天津至北京　上十二、〇〇　下五、二〇
山海關至北京　上八、〇〇　下六、四五
山海關至營口　上七、〇五　下四、三五
溝邦子至新民屯　上三、〇〇　下六、五七

市場北三階樓 時計店ノ二階　宮原公司

場　主催者惣代　恒川現靈　古川大航

報

昨日氣温
昨日の氣温　最高温度五十四度〇　最低温度三十八度八
昨年との比　高二度九　高三度二

宮門抄

十一日
外務部　欽天監　侍衛處值日無引見　王中堂專摺謝賞假兩個月　恩　恒安假滿請安　福建總兵段祺瑞謝恩　穆精額前往西外調奠請訓　劉果玉麒伺候　召見軍機　段祺瑞　劉果　玉麒
皇上明日辦事後進內升
乾清宮觀見畢還海
外務部　都察院遞封奏各一件

上諭恭錄

十一日奉
上諭貴州按察使全楙着開缺安徽池州府知府畢念承着開缺廣東潮州府知府劉尙倫廣西鎮安府知府釁陞額均着開缺送都引見欽此

論説

論冒險之精神

博搏九萬里。茫茫九千年。愈進。愈演。愈奇。愈競爭。愈文明。愈改革。愈美善。愈破壞。愈完全。政界學界。受其影響勃勃蓬蓬。發達靡息。疇組織是。疇犧牲其身而綱維是。是嘗尸功於中外古今十百豪傑之向心力。常人之情。苟且因循。浚巡退縮之不暇。無獨闢之慮。無特立之性。安常有餘進取不足。目觸心熱者一掃而廓清之。壯烈慷慨。鑿險縋幽以振拔其精神。以自厲其英鋭。白刃可蹈。東海可投。自強強人之目的決不可移。風聲所樹。國民爲之心傾。天地爲之色變。政界學界爲之壘然一新。彼井蛙籬鷃之子。方瞠然不解其震鑠磅礴之氣概。何爲而克達乃目的者。是之謂豪傑時勢。鑄豪傑耶豪傑鑄時勢耶。人世界無豪傑之心思之言論之作爲。天演或幾乎息。顧所謂豪傑。卒爲衆矢之的。一時反對現象。平和之不能。決裂所不辭。安樂之不能。艱危所不避。欲速之不能。稽遲所不憚。羈軛吾者必有以脫之。阻礙吾者必有以勝之。成敗利害之界説。不復留於腦中。期期以戰勝於舊習時弊兩範圍。爲獨一無二之義務。用能獨樹一幟。破除重圍。留大球上最優勝之名譽。故蒙敢倡言之日。歷來之豪傑。即歷來之冒險客也。且敢斷言之曰。僅具冒險性質者。固不概屬豪傑。而胚胎政學思想之豪傑。必富於冒險之精神無惑也。夫冒險之精神。至剛至鋭之精神也。歷百折而不回。亘萬變而如恒。效果各殊。或以冒險亡。或以冒險存。或以冒險彰。或以冒險隱。精神之所貫注。百世聞而興起。而各國固以尙勇輕生聞。彼中偉大之國民高尙之人品。可略述之。哥侖布航海四次。得新大陸于美洲。麥哲倫率意徑行。發現新世界於太平洋。亞美利哥氏巴路波亞氏。相繼覔新地。弗爾之數子者。排衆議。孕新理經險阻以赴之。壯氣駭然。蓋非委瑣之流所能望其項背者而希臘之蘇格拉底。法蘭西之路索。又皆以身殉道。爲學界產一特色。他若摩西修學鍊智。則亘四十年。西利比解釋動植物之變化性。則至劬精八年。哥白尼嘗著述天體運動之書。則反招攻擊。雅爾勤不惜能力。則發見海王星。阿克來毀家製器。則昉造代織機。西班牙初傳化學於英。英人目爲妖術。下之獄。則其學者研求愈精。終以不畏罪止。山縣昌貞。蒲生秀實。新井君美。爲日本開國義俠。則各抒偉論以振頹風。斯賓塞爾著書論道。則殫畢生精力以從事論者謂各國之學問。往往成於發強之性根。豈非虛語

（未完）

中外要聞

●面奏國民捐　昨某邸面奏各省國民捐辦理甚爲踴躍將來賠款不至拮据惟各旗營捐欵尙屬寥寥請於每月兵餉均扣一成餘欵存入銀行以爲國民捐欵亦不捐而捐之策兩宮聞奏躊躇良久諭某邸從長會議再行具奏

●相國壽辰　三月十一日孫相國家鼐八秩大壽之辰　朝廷盛典賜予福壽字二方以南書房恭代　御書以示褒榮元老之殊恩也餘賞金如意對聯冠帶則出於上意云又孫相國日前與慶邸言之再再決意乞休慶邸慰留數四孫相國不歡而散值云

●電商教案　外部接江西巡撫電告法教士强詞奪理案難了結請大部照知法公使辯剖曲直誠恐遲久民心惶惑又生枝節等語昨外部已照會法國公使矣

●胡星使要電　近聞外部消息駐俄胡大臣電覆外部謂俄政府並無開議之意貴部勿信駐京俄使支吾之詞致受其籠絡云云又告以新疆速派重兵鎮懾而防隱患電碼甚長其餘未得訪悉

●俄使之抗議　俄使璞科第日前照會外部謂據喀什爾地方本國官員來電稱該處英領事向中國地方官要求阿富汗斯丹喀布爾至喀什爾鐵道之修設權此舉關係俄國之利害如貴國承認此要求則俄國亦要求其他適當之權利以相抵言辭頗厲翌日外部答復以此事尙未據該地方官咨部若未經中央政府之允許萬無擅將權利讓與外人之理云云

●駁查礦務議員咨文　閩督崇制軍前接商部咨開略謂准咨福建試用道孫傳兗派充礦務議員給委據造履歷詳送核咨前來查本部定章原以礦務議員必須諳練礦務操守廉正之員請部加札派充期裨礦政令以該員才具練達器識宏深究竟於礦學是否講求此外有無通達礦務堪勝議員之任者均未聲叙應咨遴選熟悉礦務數員加切實考語咨部酌量札派以符奏案希照查辦轉行廈商政局知照

●通飭管束無約國人辦法　武昌函云自長沙無約國人戕傷捕頭後外務部恐以後仍有此項無約國人地方官不知辦法前特咨鄂吏謂嗣後無約國之人至各處通商口岸貿易者統歸我國治理如有滋事等情即捕送附近關道衙門或洋務交涉局照萬國公法條約懲辦并隨時咨報本部立案云云鄂省接文後已通飭各通商口岸及所屬地方　照矣

●經營阿爾泰山　聞科布多辦事大臣電奏請在阿爾泰山一帶籌畫警備設立台站以期傳達文報藉資邊防由沙𤉳蓋至額爾齊斯共設台站十六處現已派員駐守俟財源充富應再於阿爾泰要隘擇地添設大員以資坐鎮云

●江蘇學會致宿遷縣令書　貴治舊有學堂擴升中學兼傳習師範附設高等小學各節曾據宿邑士紳函來報告敝會詳加調查所指浮濫情形灼然共見自應由賢有司力爲提倡不至以有用之欵擲諸無用之地陸舉人等熱心辦事尤應酌予維持至組織學務必設立學會辦公之地應設立公所大江南北所在皆是貴治尙付闕如盍詢諸邦人謀茲公益尤深跂禱

雜報

●蒙古開礦　前日車臣汗部達拉札薩克請開蒙旗礦產業經飭知商部在案現雖經庫倫辦事大臣查覆尙未開辦政府昨特電催該大臣務飭達拉札薩克速將請開金礦各處即行試辦並將開礦章程集股數目列表咨報商部核示刻庫倫辦事大臣已遵照辦理

●溺河被救　昨午後有一小船至東弓灣忽被大風吹翻船戶共三人順流而沒其一人手得一大櫓幸脫餘二人亦被大船撈救云

●鬍匪復出　昨有潘城友人云時下裏河沿河一帶地方有紅鬍子成群聚夥到處搶刧來往船隻大爲不便云云

●冒役詐財　有一山東省流民王大學者舊充俄國巡勇近年無所執業愈爲無賴之行前日在關帝廟前市場詐稱已爲五甲巡勇孫振基特奉憲命拘某到案其私意實欲詐財而已詎該舖執事劉某倔憊即欲赴署質對王乃無可奈何脅令賃車竟坐往邵家屯和平區坊求役二名旋進埠內警務課署帮同交差王仍自稱其爲孫振基者遇一守門新巡役乃聞孫名未識孫面乃教其回稟五甲憲兵同來交差方合公事之體時劉已疑王贋冒愈不容王脫走王等全至五甲乃向該甲役等詐稱孫其蘭兄託其代送差犯云云時値孫守東崗聞之急來一見知其竊冒已名詐財於批其頰數四即稟明憲兵將王及二役幷劉全行送交衙署未悉究竟如何云

●河北來載　昨日河北汽車由新民屯運來廠煙六十餘包舊穀小米四百餘袋由西運來瓜子二百餘袋香油四十餘洋鐵桶鮻魚拾餘包全以駁船運過埠岸云

笑林

●三生鏡　某生有古鏡一方古質斑斕晶光瑩澈名曰三生鏡鏡影之中見字影而不見人影就字影之休咎以卜心影之吉凶問及前生後世因果歷歷不爽由是某生之舍來照三生鏡者肩相摩而趾相錯矣有某秀才偕老僧至亦欲爲鏡中人也臨鏡一照有獨占鰲頭四字蓋前生早登科第也秀才乃喜極欲狂愈以功名自負僧亦從旁曲諛無所不至秀才曰平生之願足矣請大師入鏡中登獅子座蓮花臺放丈六金光與宰官現身説法老僧欣然應命熟視鏡中杳然無所有也久不見白光一片隱隱若紛墻牛堵墻間有六字聯書而下僧請秀才讀之乃朗調曰此處不可小便

●錫名寓謔　有馬長生性極狡獪喜諧謔有友屢受其侮思爲報復因造一説以紿之曰近有瀛洲客自海外來述一奇事君欲聞之乎馬曰子第言之友曰昔有一士人駕航游東海倏忽之間風濤大作聲如雷鼓水中躍出無數精怪緣舟而上士人惶急萬分忽見擁劍橫戈之蟹作人語曰君毋恐吾輩雖水族亦頗慕風雅知君文士特來求賜贊語以示寵異士人不得已諾之遂以馬卿文譽四字贈之蟹稱謝而退一蝦上前士人贈以長鬚盛國四字蝦領之去又一魚上前士人以生機活潑四字魚亦圉圉焉洋洋焉悠然而逝臨末一烏龜跛足而待士人輾轉思索苦無切當者乃謂之曰我實在是想不出來了你又定要只好把贈他們的句上拆一個字下來送你就叫你馬長生罷

NEWCHWANG, SUNDAY, APRIL 8, 1906.

A Kindness That Is Not Wasted.—(Part VIII.)

The same Shanghai correspondent of the "Times" candidly owns near the close of his article in question that "the Chinese people are well disposed unless their religious or social customs are attacked. . . . From a certain philosophic standpoint, we may question the right of Europeans to impose their unwelcome presence on the Chinese, and admit the latter's right to protect themselves against it by all means."

Granting that there is running over China at present an anti-foreign wave of more or less activity, which we have washed the Japanese hands of quite clean, does every blame rest with the weaker Chinese? Has the foreigner himself done nothing to make himself hated? Not necessarily by abusing the license of the superior race, but through indiscreet liberties taken with Chinese conventionalities, which, however ludicrous in the foreign eye, are held none the less dear and sacred by the inhibitants of the land.

Lt.-Gen. Ying Chang, China's diplomatic representative at the German Court, according to our esteemed senior the "Peking and Tientsin Times" in its issue on the 27th ult, openly holds "the missionaries chiefly responsible for the hostile feelings aroused in the Chinese against foreigners." "Can we do otherwise than resent" continues the Soldier-Diplomat, "the action of the missionary who comes and wishes to convert us in a friendly manner or by force to his religion regardless of our feelings? . . . Protestant and Catholic missionaries must not squabble with each other and compete for the capture of souls. The missionaries insist upon importuning Chinese peasants, who cling to the faith of their fathers and sow dissension among the population until one day some hot-blooded persons use violence to the missionaries. Then the latter's Government is appea'ed to, and the Chinese Government is compelled to punish its provoked subjects. A feeling of intense bitterness is thus created in the country, which finally finds vent in hostility to all foreigners."

We confess that we are not in a position to criticize intelligently on this bold declaration against the missionaries in China, except it would seem to be entitled to due credence coming, as it has, from the lips of one of the highest diplomatic representatives of China, who ought to know what he is speaking about.

This is not to be the end of it, either. By a strange irony in the chain of events, it is now the Chinese Minister to Washington Sir Shentung Lian Cheng's turn to say something very stiff against the Germans, in allusion to the present discontent in China.

Sir Shentung is re-quoted in the issue of our esteemed senior the "Shanghai Times" on the 21st ult. as saying, pending confirmation, at an interview at Washington:

"Since the dawn of your civilization the Germans have been the disturbers of the peace and repose of other people and nations within what is now the Christian domain. They seem always discontented with what they have. Their energy appears to demand the whole world in which to bustle."

"The Chinese Minister is then said to have intimated that the present discontent in China is due to German measures and German plots, and is alleged to have further intimated that the German Government or its agents are giving support to the revolutionary movement which has for its object the overthrow of the present reigning Dynasty in China."

Dr. J. Chaffanjon, correspondent of Museum de Paris, arrived at the port from Chefoo last Friday, and has been at the "Manchuria." The learned explorer is in charge of the Scientific Mission, being Leaureat of the Institute and the Academy of Sciences. He has been decorated with the Legion of Honour. Mons. V. Marc accompanies him as secretary.

Mr. W. F. Inglis of Messrs. Jardine, Matheson and Co., Shanghai, came to the port on a visit last Thursday and has been staying with Mr. H. F. Bush. Mr. Inglis will leave by steamer to-day.

Mr. H. A. Bush is reported to have left Hongkong last Friday homeward bound.

Lt.-Col. Yokura and his party reached Tairen yesterday and took last evening's train for Newchwang due here about 2 this afternoon.

營口旅館料理店案內（いろは順）

旅館 料理 第一營口ホテル 元神廟街九十六號（電話八四番）
旅館 料理 第二營口ホテル 河岸通り
料理 第三樓 元神廟街三十二號（電話七九番） 店主 粕屋忠兵衛
料理 入船亭 永世街百八十三號 谷 初次郎
旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上 源吉
料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎
旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三程
料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住 善藏
料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎
料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田 正好
旅館 料理 高砂ホテル 高砂亭 西北街 店主 片山小みつ（電話一四五番）
旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五一） 店主 麻田 久二
旅館 大和館 永世街三十四號 店主 前田九一郎
料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚 勝一
料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島 彌助
料理 まんなをし 永世街字二本町二百平九号 店主 和田 常松
和洋 御料理 公樂園 南永世街
京東 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）
旅館 料理 金城ホテル 永世街百六十六號 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎
料理 旅館 醉花園 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街
旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎
營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎
さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角
御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡 益人
御料理 並ニ溫泉 一力 營口永世街 店主 堀 万助 毎日新湯
和洋 料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号
和洋御料理旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門二七号
料理 都樓 平野町 店主 坂本ちか

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 日營ホテル支店 主任 井上源吉
御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園挹
旅館 西洋料理館 遼陽館 主任 永瀬宇吉
旅館 料理業 公陽館 主任 宮川秀基
御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟
御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎
旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉
遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽倶樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎
會席 玉家 主任 西野治三郎
御料理 會席 來々亭 主任 石田清

一和洋御料理 遼東館

遼陽城內東街

本館は遼陽城內第一繁盛の地にあり內外人往來頻繁なり今般四方紳士諸君の御勸に依り宏荘美麗なる日本風の家屋を新築致し一百人以上の宴會等も出來得べく廣間も御座候に付ては續々御光來被成下度花客諸彥に對し親切叮嚀を旨とするは弊館の特色に御座候

奉天旅館料理屋案內

旅館 奉天館 奉天城內鐘樓南大街 奉天軍政署指定旅館（電話一五）
和洋御料理 日清倶樂部 奉天大南門裡大街（電話一四）
商人御定宿 瑞豊館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 號）
會席御料理 高等御旅館 天神樓 奉天小西關大街北側（電話 號）
旅館料理店 日の出樓 奉天小西門通（元紅葉館跡） 溫泉付大勉强キレーデヲイシヒ 樓主 大瀬七造
旅館料理店 日盛館 奉天小西關大街南中 館主 入江熊男（電話 號）（電話十七號）
旅館 料理店 梅松館 奉天城內灰市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 號）
旅館料理店 大和館 奉天大西關高臺子廟前 館主 今井コノ
旅館 大正館 奉天小西邊門外十間房道北側 館主 大草村行
高砂館本店 奉天十間房第十五號
奉天に於ける日本風新築家屋は弊館より外に無之特に夏期御宿泊には最も適すべき樣に相成居候間御投宿の節至極便宜に御取扱可申上候以上
旅館 御料理 奉高砂館 高砂館支店 奉天城外廿四 店主 宇本智平
旅館料理店 日奉館 奉天小西門外大街 館主 原田清五郎
高等旅館 東洋館 奉天大西門外小什字街（電話 號） 主任 藤島初野
御料理 梅ヶ枝 奉天小西門より一丁西の辻北入 館主 辻井ムメ
旅館料理店 勉強館 奉天小西關外北長營關隣

撫順炭大販賣

多少に不拘御用命被仰付度願上候

金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

會席御料理 金城館

奉天 小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ヘ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候
一海關手續事務取扱 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ
一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱
一船舶貨物取扱
一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候
營口西北街第二七二號
大清通運公司 營口支店

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尚ほ不拂の御方は其姓名を揭げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相成度右は同業者協議の上及廣告候也

營口旅館料理屋同業組合

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

新着の御知らせ

東京より
蜂印香竄葡萄酒、羊羹、味付海苔、旅行用トランク、手提鞄、御婦人足袋、謄寫版、眞筆版、コツピープレス等
其他
雛立印白酒、寄木細工、漆器、陶器、金屏風等夫れ〳〵産地より着荷仕り候
新到
各種皮包、皮箱、文具格、畫掛、畫漆茶机、畫漆茶盤、金漆畫屏、金漆鏡臺、眞筆版、謄寫版、極上麝香水、蜂牌香竄葡萄酒、

營口 加藤洋行（電話八十番）

工 飯塚工程局材料部 營口元神廟前（電話百三十五番）

弊局土木建築材料品の各産地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、砕石、煉瓦等
一日本石炭數種

自造 煉瓦●瓦 並に各種石材販賣
營口青堆子 加州組（電話八十六番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣
營口青堆子 清水寧木局（電話九十四番）

美味安價西洋料理 牛莊亭

東營口郵便局東隣 ●島田洋服店●
新民屯停車場前 ●同 支店●

會席料理 三日月 營口警務課前南に入る

爲替相場（四月七日）
日本向 九十九圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩二十五錢（同）
天津向 百〇二圓五十錢（百弗に付）

日本品最近物價表 加藤洋行
一半紙 一紙類 一～ 二圓九十錢より三圓廿錢
一全 一狀袋 二十枚續 三錢二厘以上四錢 百枚 十二錢以上十八錢
一蒲團 三枚組 室內裝飾品及寢具 矢野洋行 六圓九十錢以上六十五圓
一疊 一蒲椽 一麻緣通 二圓六十錢以上三圓 十枚 八圓 一疊數 三圓

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ケ月前金 洋八十仙
半ケ年前金 四弗八十仙
一ケ年前金 銀九弗六十仙